2010 年 7 月 7 日

各位

MediciNova,Inc.
代表取締役社長兼 CEO
岩城　裕一
コード番号:　4875　大証ヘラクレス
問合わせ先:　東京事務所代表　副社長
岡島　正恒
電話番号:　03-3519-5010
E-mail:　info@medicinova.com

UBS から発行されたオークション証券（ARS）売却完了のお知らせ

2010 年 7 月 6 日　メディシノバ（MediciNova,Inc.）（米国カリフォルニア州　サンディエゴ、代表取締役社長兼 CEO：岩城裕一）は、2010 年 7 月 1 日（木）に、UBS AG の発行したすべてのオークション証券（ARS）について、額面価額による売却を完了いたしましたのでお知らせします。以下に詳述する ARS ローンの償還後、当社の差し引き受取額は 9.5 百万米ドルとなりましたが、すべてマネー・マーケット・アカウントに投資いたしました。

2008 年 8 月、当社の保有する ARS の大部分の購入先証券会社である UBS AG 及び関連会社（以下、「UBS」）は、SEC、ニューヨーク州法務当局及びその他の州規制当局と和解を行いました。この和解に従い、UBS は当社に対して、当社が UBS に ARS の買い戻しを求めることを可能とする、ARS ライツ・オファーを発行いたしました。この ARS ライツ・オファーによって、当社は、2010 年 6 月 30 日から 2012 年 7 月 2 日までの期間中いつでも、UBS に、ARS の額面による買い取りを求めることができる権利を取得いたしました。また、和解の一環として、当社は UBS から、ARS ローン（受取利息と支払利息を相殺するため、実質ゼロコストの借入となります）の提示を受けました。このローンの利用により、当社は、当該ローンの担保として提供される当社保有の ARS につき、その市場価格（UBS の裁量で決定されます）の 75%を上限とする金額を、当該 ARS に発生した利息を超過しない額の利率で借り入れることが出来ました。

当社は、引き続き、私募証券から成り立ち、長期投資有価証券に分類される 1.8 百万米ドルの ARS を保有しております。かかる ARS の担保は、サブプライム住宅ローンまたは債務担保証券により構成されるものではありません。

以上

メディシノバについて

メディシノバ（Medicinova, Inc.）は、日本内外の国際的製薬企業との提携により有望な低分子化合物を導入し、様々な疾患領域の新規医薬品の開発を主として米国で行う公開製薬企業です。弊社のパイプラインには、喘息急性発作、COPD（慢性閉塞性肺疾患）、多発性硬化症を初めとする神経疾患、神経因性疼痛、薬物依存、喘息、間質性膀胱炎、固形癌、全般性不安障害、切迫早産、尿失禁など、多様な疾患の治療を目的とする 6 つの臨床段階の化合物と、血栓症治療を目的とする 2 つの前臨床段階の化合物が揃っております。メディシノバは、当面その戦略として、喘息急性発作及び COPD の治療薬 MN-221 と多発性硬化症及びその他の中枢神経系疾患治療薬 MN-166/AV411 との 2 つの優先的開発化合物に資源を集中して開発を進めていく予定です。MN-221 については、米国内で独自に開発を行い、一方 MN-166/AV411 については、開発に際して、戦略的な提携関係を構築することを考えております。また、他の製品候補につきましても、現金化を試みて参ります。弊社詳細につきましては http://www.medicinova.jp をご覧下さい。メディシノバの所在地はアメリカ合衆国カリフォルニア州サンディエゴ市ラ・ホイヤ・ヴィレッジ・ドライブ 4350、スイート 950 （電話 1-858-373-1500)です。

このプレスリリースには、1995 年米国民事証券訴訟改革法（The Private Securities Litigation Reform Act of 1995）に規定される意味での「将来の見通しに関する記述」が含まれている可能性があります。これらの記述には、製品候補の治療法としての新規性および効能を実証する臨床試験に関する記述、既存または将来の臨床試験の計画や目的および製品開発に関する計画または目的に関する記述などが含まれます。このような記述には、臨床試験の結果、現段階の臨床試験の結果が必ずしもその後の製品開発の行方を確定するものではないこと、将来の臨床試験のタイミング、費用、計画など、臨床試験、製品開発および商品化に付随するリスクや不確定要素、FDA に対して書類を提出するタイミング、当社の戦略の失敗、第三者との提携構築、アヴィジェンとの合併により、イブジラストに関する開発プログラムを統合することにより期待される戦略的、財務的メリットを実現する可能性、イブジラストに関する開発プログラムを進めるための戦略的提携交渉、または、資金調達の可能性、知的財産権や契約上の権利を初めとして、当社が米国証券取引委員会に提出した届出書に記載されているものも含めたその他のリスクや不確定要素など、その多くは当社のコントロールが及ばないいくつもの前提、リスク、不確定要素の影響を受けるものであります。したがって、「将来の見通しに関する記述」はその時点における当社の状況を述べているにとどまり、実際の結果または成り行きは、必ずしも予想通りにはならない可能性があることにご留意下さい。また当社には、この記述に関して、情報の修正または更新を行う義務はありません。